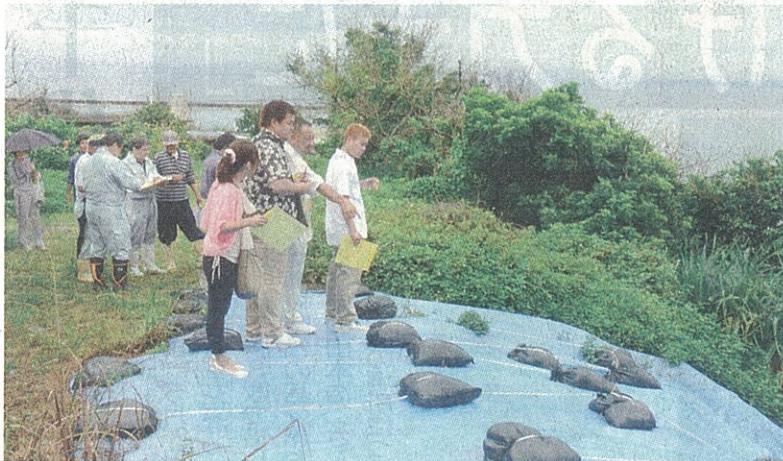


崩れた遊歩道を視察する参加者ら=うるま市津堅島のキャロット愛
ランド遊歩道



津堅の良さ探そう

うるま市
島おこし事業

住民と専門家が調査

【うるま】地域振興の支援やコンサルティングを行うカルティベイト（開梨香社長）はこのほど、島の現状把握と今後の発展のための「島あつちやーWithなんでもお助け隊」をうるま市津堅島で実施した。住民やうるま市職員、島の振興に関する各分野の専門家ら、約60人が施設、自然、文化、環境美化の四つのグループに分かれて島内を歩き、長所と問題点を調査した。

違法ごみなど課題も

「島あつちやー」は市の「津堅島島おこし支援事業」の一環で、市がカルティベイトに委託した。開社長は「これまで行政と島の人たちとの意見交換が不十分なままに事業が行われてきたこともあつたと思う。今後島おこしを進めるために、島の人たちの求めを聞くところから始め、彼らが自分たちから動くよう働き掛けていった」と語った。

島で自転車レンタル店を営む東堅一さん（65歳）は「地元に住んでいてもなかなか足を運ばない場所に行けた。あらためて島のことを考えるきっかけになつた」と話した。うるま市企画部の伊藝要主事は「押し付けではない形で行政として協力していき、事業展開を考えていきたい」と述べた。